

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病院長 岩波 明
〔編集責任者〕広報委員長 常岡 俊昭
〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11
〔電話〕03-3300-5231(代表)

第191号

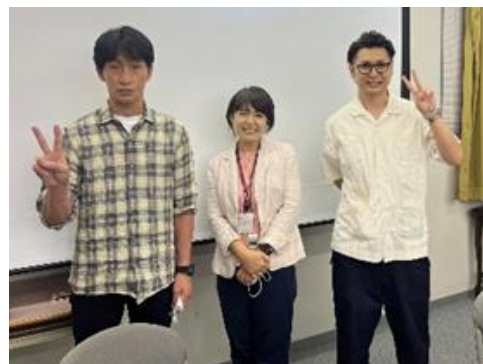
[2023年7月31日発]

渡邊洋二郎さん講演会について

精神保健福祉士 水野有紀

去る6月14日、訪問看護ステーション デライトと共催で渡邊洋次郎さんの講演会を行いました。会場となった烏山病院の集会室には仕事終わりの院内外の看護師15名が集い、WEB上では100名以上の参加がありました。

渡邊さんは大阪生まれの48歳。物心ついたころから周りに違和感がありながらも健気に社会と関わります。分からないことが分からなくて、質問も相談も出来なかった幼少期。靴を上履きに履き替えて教室に行くことも、時間割の意味も分からなかった小学生時代。怒られて罰として掃除をさせられている意味も分からなくて掃除を放り出して遊びに行ってしまうけれど、そのことになんともなく後ろめたさはどこかで感じていた。おかしい、汚いと言われることをすることで友達とのつながりを持っていた。中学に入るとシンナーやバイクを盗難し、20代で水商売に従事しアルコールを大量に飲むようになり依存症に陥っていきます。少年鑑別所、少年院、刑務所に何度も入ることになりました。精神科病院の入院はなんと48回！そして渡邊さんは32歳の時、不思議な体験をします。どうして生きているのかわからなかった。死にたいと思って、自分を傷つけた。でも生きてきた。自分の意思と違うところで心臓が鼓動を打って体が生きてきて、これからも生きようとしている。そのことに気づいたときに渡邊さんは変わります。その後、回復施設に入所し、作業所通所を経て、介護福祉士を取得。知的障害者施設勤務を経て、今は依存症回復支援施設の職員をされています。



渡邊さんの半生は『下手くそやけどなんとか生きてるねん。』（現代書館）に書かれていますので、興味がある方は読んでみてください。文章は雄弁で、積極的に講演活動を行う活動家ですが、実際に会うと、はにかみがちな笑顔がチャーミングなシャイな方でした。回り道が必要なことがあります。回り道をしている間、様々なスティグマや偏見やヘイトに傷つけられます。本人のみならず家族や周りにいる人たちも傷つきます。そのような中でも変化を信じて、回り道に付き合う仲間が増えていったら良いなと思いました。



家族教室について A3 病棟精神看護専門看護師・主査 前田愛

1. オンライン「家族教室」開催中！

コロナウイルス感染症が流行して早いもので4年目になります。コロナウイルス感染症の流行により、臨床・教育などさまざまな現場に大きな影響が及ぼされました。そのうち緊急事態宣言が発出されるようになると、作業所の閉鎖・病院での外出や面会禁止・自助グループや心理教育プログラムの開催中止など、精神障害当事者やそのご家族が孤立していく状況が発生していきました。当院もその例外ではなく、毎月1回のペースで開催してきた家族教室を中止せざるを得ない状況となりました。

そんななか、ある当事者から「コロナになっても死ぬ可能性は2%だけど、スリップしたら死ぬ可能性は20%だから、コロナになるリスクだけでプログラムや自助グループを止めないでほしい」という強いメッセージをいただきました。この言葉を後押しに、わたしたちはオンラインでの家族教室の再開を試みました。当初は院内のスタッフだけで運営していましたが、徐々に輪が広がり、現在では当事者や地域支援者・他病院の看護師や他大学の教員とともに運営を続けています。

2. オンライン「家族教室」から見たもの

コロナ禍での孤立に対して、オンライン家族教室はご家族への心理的サポートとなっているだけでなく、わたしたち援助者にとっても、当事者やご家族の悩む声や元気な姿といった、リアルな様子から多くを学ぶ機会になっています。このようにして、オンライン上であっても安全で安心な空間を作り上げられる相互作用があることが明らかになりました。この相互作用が成される前景として、援助者がケアのなかで当事者やご家族よりも上の立場に立っているという思い違いを直視し、当事者やご家族もケアの専門家であり、人生の先輩であるとして対等に語り合っていく姿勢が大切であることがわかりました。

また、ひとりではこのようなプログラムの運営は困難です。そのため、当事者やご家族の力になるケアを届けたいという熱意を共感し、共にプログラムを運営するチームメンバーを迎え入れてきました。どんな立場の人でも誰でも参加できる安心な空間を保障することで、多くの方に支えられながら、運営チームが成長発達していると実感しています。

どんな方でも安心して参加できるのが烏山病院オンライン家族教室のいいところです。誰に話せばいいのかわからない…と悩む方がいらっしやいましたら、家族教室にいらしてください。このオンライン家族教室は毎月第4木曜日の19:00-21:00に開催しています。院内にもポスターを掲出していますので、お気軽にアクセスしてみてください。



面会制限緩和のお知らせ

日ごろより新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をいただき、誠にありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症5類引き下げに伴い、面会を下記の通り一部緩和しておりますのでお知らせいたします。

面会のご案内

- ・ 予約制
- ・ 患者さん1人につき2人から3人まで
- ・ 1時間1枠。15分間まで

※面会は原則患者さまのご家族さまのみ可能となります。

※ご予約につきましては各病棟までお問い合わせください。

※未就学児の方の面会をご遠慮ください。

注意事項

- ・ 院内では引き続きマスクのご着用をお願いいたします。
- ・ マスクはご自身でご用意をお願いいたします。



ご協力のほどよろしくお願いいたします。

**感染症拡大防止に
ご協力ください**



デイケア活動 手工芸

Mさん

火曜午前に行われている手工芸のプログラムについて紹介します。手工芸では、それぞれの参加者の興味に応じて多様な作業ができます。たとえば、縫物、編み物、ビーズ、スクラッチアート、羊毛フェルト、折り紙など活動は様々です。時に談笑しながら、それぞれが個人で作業に集中します。私は前はフェルトで万歩計入れを作りました。現在は継続して、ふきんの刺し子と、コートに毛糸で自由に縫い目を付けていくダーニングの作業をしている最中です。集中力が続かないので進みは少しずつですが、手工芸に参加することで自分のストレス対処になれたらいいなと思います。手工芸のプログラムにはボランティアの先生が来てくれていて、分からないことを聞いたりアドバイスを受けていただけます。制作物が完成すると、先生が参加者の皆に完成品をお披露目で見せて回ってくれます。見てくれた人から「すごい」「可愛い」など声が挙がると、製作者の喜びや達成感にも繋がります。手工芸の部屋の壁際の棚の上には、手工芸で製作された作品が数多く飾られています。



総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時

土曜日 8時30分～13時

電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329

土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～金曜日・8時30分～14時

土曜日 8時30分～12時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《6月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数 8,596(8,852) 6,398(6,168)

◇一日平均患者数 286.5(285.5) 246.1(257.0)

◆診療実日数 30(31) 26(24)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。

こちら当院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。



【編集後記】

7月を迎え、本格的な夏が始まりました。毎日厳しい暑さが続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

この前出勤時に烏山の円形花壇を眺めていたら、植わったローズマリーの枝に、蟬の抜け殻と、その主であろう蟬が並んでいるのを発見しました。抜け殻と仲良く並ぶ姿はなんとも新鮮で、外に出ると思わぬ発見をするものですね。なかなか外出にも覚悟がある天気ですが、体調に気をつけながら夏を楽しみたいものです。



(広報委員 今村)